

佳作

ぼくのすきなもの

静岡県 静岡市立葵小学校二年 高木涼

ぼくは、てつどうが大すきです。とくに、新かん線がすきです。車りよの形、スピード、しんかしつづけているところが、かっこいいからです。

はんたいに、ぼくは、べんきようが大きらいです。わからないからです。じゅぎよう中、わからなくなると、頭の中のぼくは新かん線にのって、新はこだてほくとまで行ってしまいます。もりおかえきでと中下車して、はやぶさとこまちのれんけつ、切りはなしを見ることもあります。

ぼくが大すきなてつどうは、べんきようするとき、ぼくをたすけてくれます。けいさんがわからないときは、車りよのれんけつと切りはなしをそうぞうすると、できます。かん字は新青森、小山、糸魚川、新山口と、新かん線のえき名を書くだけで、こころがウキウキします。

今年の一月、ぼくはしずおかえきのホームで、ド

クターイエローT四へんせいのラストランを見とどけました。引たいです。セごう車のまどに「ありがとう」と書かれていました。「てつどうをすきになつてよかった。こちらこそ、ありがとうございませす」と、思いました。てつどうのぜんぶに、そう思いました。はなの上がじんじんして、目になみだがつまりました。

もしてつどうがなかったら、どうなっていたかな、と考えてみたけど、そうぞうもつきませんでした。てつどうがあつて、すきになったから、べんきようがわかるようになったし、家ぞくで日本中たのしくりよこうに行くことができます。ぼくのすきなものは、てつどうです。